

グループ一体となって 企業価値向上を目指してまいります



時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
また、平素より当社グループに格別のご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。

このたび、2018年4月1日付で代表取締役社長
に就任いたしました。

私は、1983年に大福機工（現・ダイフク）に入社
以来、FA&DA（一般製造業・流通業向けシステム）
事業の営業に従事してまいりました。当時のダイフク
は、売上高がまだ400億～500億円規模の会社で
納入先は工場中心でした。その後、1990年頃から
自動化ニーズが、流通分野へと移行していく中、流
通業向けシステムにも挑戦することでマテリアルハン
ドリングメーカーとして飛躍を続けることができました。
当時まだ少なかった自動倉庫やコンベヤをシステム化
した物流システムは、人手不足も相まって、現在では
社会に欠かすことのできないインフラになっています。

プロフィール●1958年大阪府生まれ。
1983年同志社大学経済学部卒業、ダイフ
ク入社。FA&DA事業部営業本部長、同事業
部門長などを経て、2015年取締役常務執
行役員。2018年代表取締役社長に就任。

おかげさまで当社は昨年、創立80周年を迎え、
世界のマテリアルハンドリングシステム業界におい
て、売上高で3年連続世界一の企業へと成長しま
した。一方で、海外売上高比率が70%に迫る当社
にあって、当社グループのさらなる成長のためには、
FA&DA事業のグローバル化が最大の課題と認識
しております。

今後も、新たな製品・システムを提供して、世界の
お客さまの期待にお応えすると同時に、これまで進
めてきた構造改革をさらに加速させ企業体質の強化
を図っていく所存です。

ダイフクの新たなステージに向けて、グループ一体
となって企業価値向上を目指してまいります。今後と
も、何卒よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 下代 博